

活用効果評価結果

平成22年度

四国地方整備局 新技術活用評価委員会

開発目標	環境、コスト削減、生産性の向上、周辺環境への影響抑制													
新技術登録番号	SK-050002-V				区分			工法						
分類	共通工-排水構築物工-水路工-その他													
新技術名	W2R工法													
比較する従来技術(従来工法)	手はつり撤去と蓋受の新設打設													
新技術の概要及び特徴	既設側溝壁を、専用切断機で早く・安全・確実に所定の高さに全切断し、側溝と蓋をリニューアルする技術である。													
活用効果評価	所見	道路の側溝をリニューアルする場合に、短時間で交通を解放できる。 カッターによる切断なので従来のチップングに比べて振動騒音とも格段に少ない。							項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較					
	留意事項	カッターのセットを水路の内側に行うので水につかるところではできない。												
活用効果調査結果	対象工事	1	電線共同溝工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		2	管内交通安全施設設置工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		3	路面修繕工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		4	道路整備工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		5	舗装修繕工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		6	路側整備工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		7	維持工事					(従来技術) 手はつり撤去と蓋受の新設打設						
		8												
		9												
		10												
活用効果調査結果	施工時評価	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	項目の平均	従来技術(従来工法)	
		経済性	B	C	B	D	B	D	C				C	C
		工程	A	C	A	A	A	A	A				A	C
		品質・出来形	B	B	B	B	C	A	B				B	C
		安全性	B	B	B	B	C	B	B				B	C
		施工性	A	B	B	A	C	B	B				B	C
		環境	B	C	B	B	C	B	B				B	C
		その他	-	-	-	-	-	-	-				-	-
施工時評価点	B	C	B	B	B	B	B				B	-		
追跡調査												-		
総合評価点	B	C	B	B	B	B	B				B	-		
活用効果評価	項目	評価結果							補足					
	成立性	技術として成立している							技術における機能、品質、性能などを実験や理論的なもの等での確認・証明の有無		技術として成立している			
											技術として成立していない			
	優位性	従来技術より優れる							従来技術に対して優れている度合い		A	従来技術より極めて優れる		
											B	従来技術より優れる		
											C	従来技術と同等		
											D	従来技術より劣る		
安定性	安定性が確認されない							各評価項目の判定結果による総合評価		高い安定性を有す				
										安定性に問題がない				
現場適用性	広い							技術の優位性が高いものの件数の多寡		安定性が確認されない				
										広い				
区分	従来技術に比べて活用の効果は優れている。ただし、活用の条件の違いに対する評価の安定性は無い。									高い安定性を有す				
										安定性に問題がない				
追跡調査の必要性										安定性が確認されない				
追跡調査														